

令和元年度 第1回地域連携推進会議 議事要旨

日時 : 令和元年10月29日(火) 10:30 ~ 11:25

場所 : 本部管理棟2階 第二会議室

出席者 : 牛窪 潔(機構長)、背戸 博史(地域連携企画室長・生涯学習推進部門長)、藤田 陽子(研究推進機構(島嶼地域科学研究所)教授)、畠中 雄平(人文社会学部教授)、大城 賢(教育学部教授)、金城 貴夫(医学部教授)、内藤 重之(農学部教授)、熊淵 智行(附属図書館事務部長)、新田 早苗(総合企画戦略部長)、金城 徹(地域連携推進課長)

欠席者 : 竹村 明洋(副機構長・産学官連携部門長)、名嶋 義直(グローバル教育支援機構(国際教育支援部門)教授)、西本 裕輝(グローバル教育支援機構(授業支援部門)教授)、玉城 志博(研究推進機構(熱帯生物圏研究センター)助教)、福井 眞司(国際地域創造学部講師)、眞榮平 孝裕(理学部教授)、舟木 慶一(総合情報処理センター講師)、

陪席者 : 嘉目 克彦(監事)、小島 肇(地域連携推進機構(地域連携企画室)特命准教授)、島袋 亮道(地域連携推進機構(地域連携企画室)特命准教授)、畑中 寛(地域連携推進機構(地域連携企画室)特命准教授)、與儀 あゆみ(産学連携推進係長)、金城 まなみ(企画係主任)、田頭 明子(地域連携推進係主任)

<審議事項>

1. 琉球大学開学70周年記念事業地域連携企画展について

議長から、資料(審議1-1、1-2)に基づき、2020年の琉球大学開学70周年記念事業全体の計画や進捗状況について、説明があった。

引き続き、背戸地域連携企画室長から、地域連携企画展について、2019年3月に開催した未来共創フェアを参考に、より企業との連携も含めた内容としたいこと、フェアの際は、地域連携推進機構の教員を中心とした実行委員会を組織したが、今回は開学記念事業として全学的な実行委員会を組織したい旨の提案があった。

審議の結果、地域連携企画展の実行委員会として、地域連携推進機構の専任・特命教員と地域連携推進会議委員で組織することが了承された。

なお、嘉目監事から、70周年記念事業のGAPファンド設立についての確認があり、議長から、GAPファンド設立については令和3年度からの実施となることの説明があり、引き続き、金城地域連携推進課長から、ファンド設立はこれから詰めていくため、来年度に開催する企画展について先に審議いただいている旨の説明があった。

<報告事項>

1. 「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」の調査結果について

議長から、資料(報告1-1、1-2)に基づき、日経グローバルが実施した「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」で、本学が全国8位になったことの報告があった。

委員より、主に以下のような意見があった。

- ・本調査は、ある程度の妥当性はあるとは思いますが、実際に地域住民にとって各大学の地域貢献がどういうメリットがあったかという観点も必要ではないか。
- ・企業や自治体との共同研究等だけではない、いろんな地域貢献の在り方というものも考えていくべきではないか。
- ・この調査も毎回、力点が変わっている印象があり、本学がやっていることがたまたま調査項目として一致したという点は否めない。ランキングが上昇したというのは、広報の面では重要ではあるが、本学としては、沖縄のニーズ、沖縄の発展というものを重要視していくという姿勢が重要である。
- ・社会的な広報インパクトはあり、沖縄の経済同友会や起業家団体はこの情報をいち早くつかんでいる。県内企業に70周年事業の寄附を呼び掛けている中で、大事な点ではある。